

## 食の安全性に関する意識調査結果

### 1 県政インターネットモニターアンケート結果

#### 第1 調査のねらいと実施方法

- 1 調査の目的
- 2 調査時期
- 3 調査対象
- 4 調査方法
- 5 回答者数及び属性

#### 第2 調査結果

- 1 食の安全性について
- 2 食品を購入する際のポイントについて
- 3 食品の安全対策について
- 4 行政に何を求めているかについて
- 5 自由記述

#### 第3 調査結果の活用方法

### 2 県政世論調査

平成14年度 概要報告書（抜粋）

#### 第1 調査の概要

#### 第2 安全で健康な日常生活を送ることについて

# 1 県政インターネットモニターアンケート結果

## 第1 調査のねらいと実施方法

### 1 調査の目的

牛海綿状脳症の発生や食肉等の偽装表示問題或いは中国製ダイエット用健康食品による健康被害の発生等により、県民の食品の安全性に対する信頼は大きく揺らいでいる。

このため、県では、生産から流通・消費までの総合的な食品の安全確保体制の構築及び健康危機管理体制の強化を図るため、庁内関係部局（生活・文化部・環境森林部・健康福祉部・商工労働部・農業水産部・教育委員会）からなる「しずおか食の安全推進委員会」を設置し、一体的な行政を推進することとした。

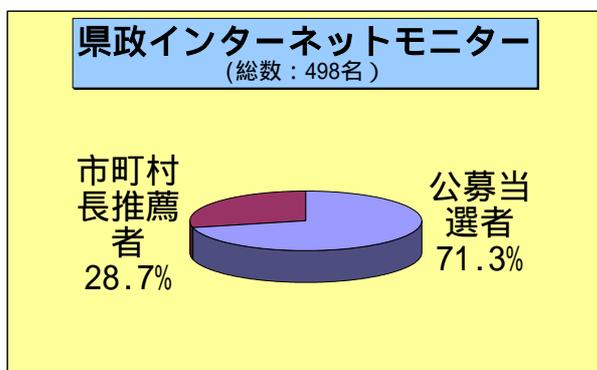
そこで、上記委員会において策定する食の安全確保のための基本方針やアクションプランに県民の意見を反映させていくため、県政インターネットモニターアンケートにより食の安全性に関する意識調査を実施することとした。

### 2 調査時期

平成 14 年 8 月 30 日（金）午後 3 時～ 9 月 9 日（月）午後 3 時

### 3 調査対象

県内在住又は在勤、在学の満 18 歳以上の男女のうち、市町村長推薦及び公募により選ばれた 498 名の県政インターネットモニター（しずおか e - モニター）



区分	モニター数	%
公募当選者	355名	71.3
市町村長推薦者	143名	28.7
合計	498名	100.0

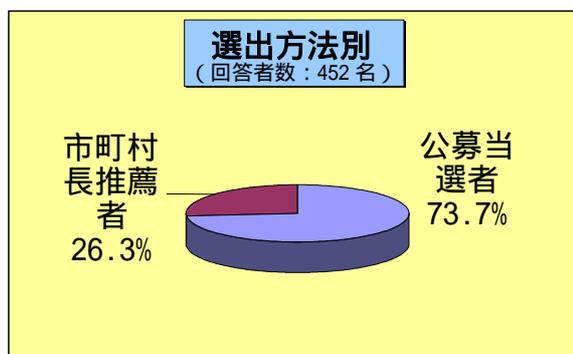
## 4 調査方法

食の安全性に関する3問、食品を購入する際のポイントに関する4問、食品の安全対策に関する5問、及び行政に何を求めているかに関する3問の計15の選択回答式設問、並びに食の安全性について自由記述式設問について、インターネットを利用したアンケート調査を行った。

## 5 回答者数及び属性

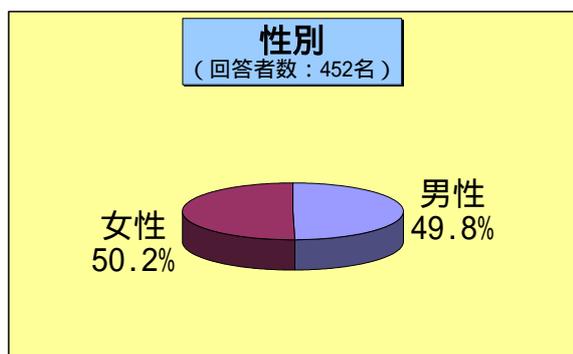
492名のモニターのうち、452名(90.8%)のモニターから回答があった。

### (1) 選出方法別



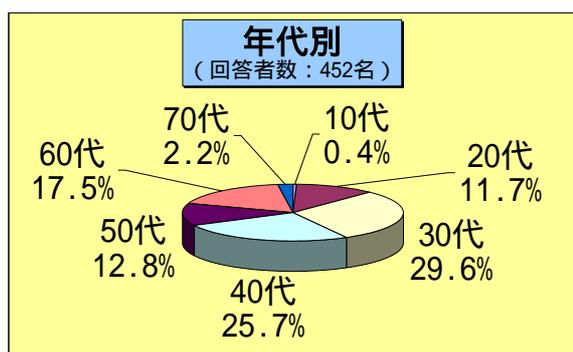
区分	回答者数	%
公募当選者	333名	73.7
市町村長推薦者	119名	26.3
合計	452名	100.0

### (2) 性別



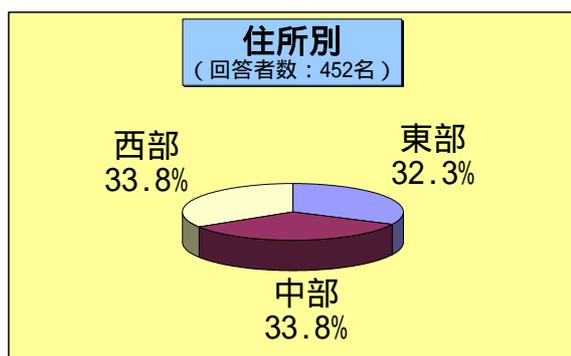
区分	回答者数	%
男性	225名	49.8
女性	227名	50.2
全体	452名	100.0

### (3) 年代別



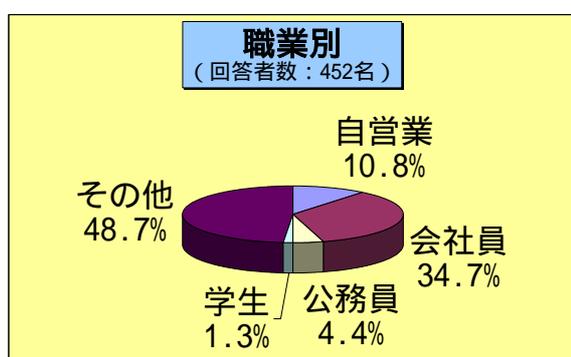
区分	回答者数	%
10代	2名	0.4
20代	53名	11.7
30代	134名	29.6
40代	116名	25.7
50代	58名	12.8
60代	79名	17.5
70代	10名	2.2
全体	452名	100.0

#### (4) 住所別



区分	回答者数	%
東部	146名	32.3
中部	153名	33.8
西部	153名	33.8
全体	452名	100.0

#### (5) 職業別



区分	回答者数	%
自営業	49名	10.8
会社員	157名	34.7
公務員	20名	4.4
学生	6名	1.3
その他	220名	48.7
全体	452名	100.0

## 第2 調査結果

### 1 食の安全性について

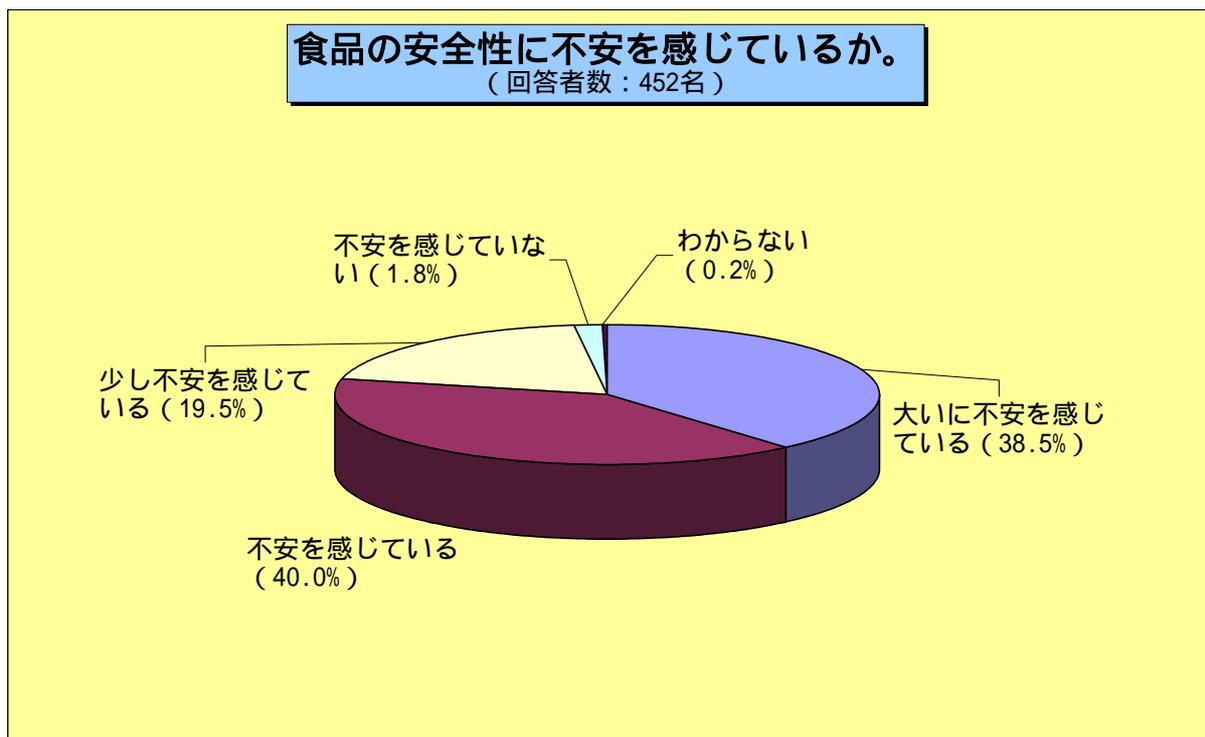
牛海綿状脳症の発生や食肉等の偽装表示問題或いは中国製ダイエット用健康食品による健康被害の発生等により、県民の食品の安全性に対する信頼は大きく揺らいでいる。

そこで、食品の安全性及び食品表示に対する認識について尋ねた。

#### (1) 食品の安全性に不安を感じているか否かについて

食品の安全性に不安を感じているか否かについて、選択肢を示して尋ねたところ、「不安を感じている」と回答した者が40.0%と最も多く、次いで「大いに不安を感じている」と回答した者が38.5%、及び「少し不安を感じている」と回答した者が19.5%となっており、全体の98.0%の者が食品の安全性に何らかの不安を感じていると回答した。

なお、「不安を感じていない」と回答した者が1.8%、「わからない」と回答した者が0.2%であった。



問1 食品の安全性について、不安を感じていますか。それとも特に不安は感じていませんか。

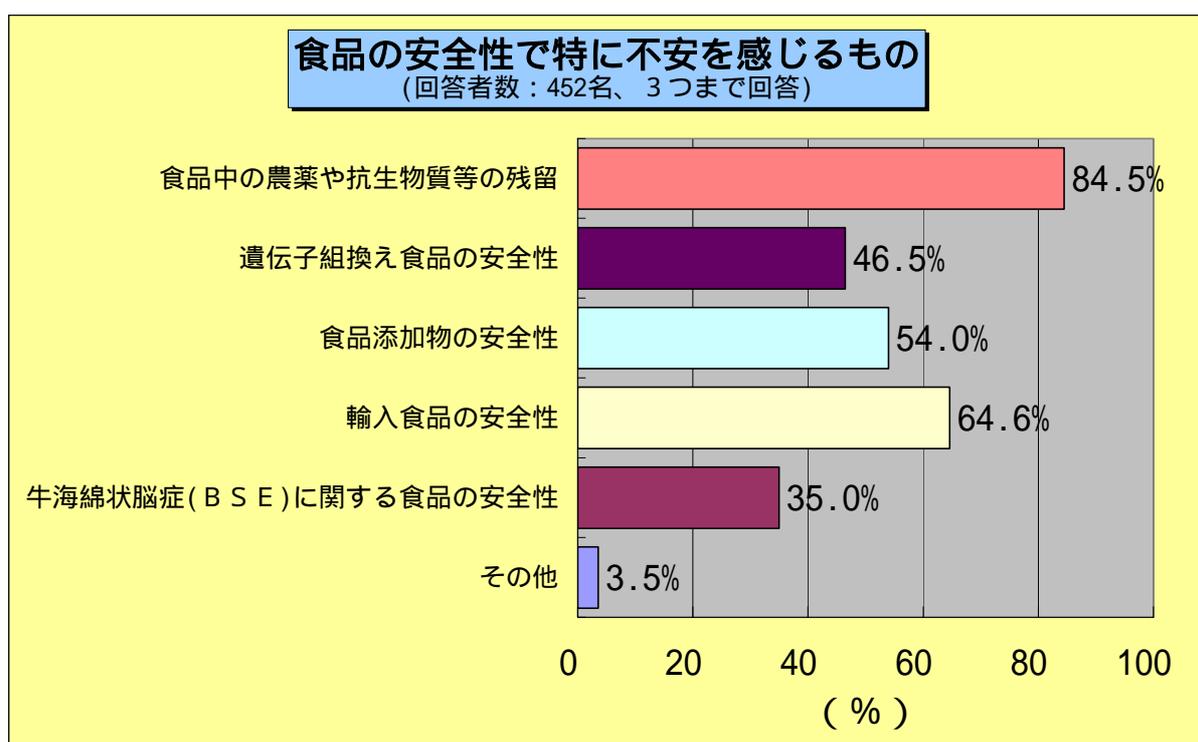
- 1 大いに不安を感じている
- 2 不安を感じている
- 3 少し不安を感じている
- 4 不安を感じていない
- 5 わからない

回答者数	1		2		3		4		5	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	174	38.5	181	40.0	88	19.5	8	1.8	1	0.2

## (2) 食品の安全性で特に不安を感じるものについて

食品の安全性で特に不安を感じるものについて、選択肢を示して尋ねたところ、「食品中の農薬や抗生物質等の残留」を挙げた者が 84.5%と最も多く、次いで「輸入食品の安全性」を挙げた者が 64.6%、「食品添加物の安全性」を挙げた者が 54.0%、「遺伝子組換え食品の安全性」を挙げた者が 46.5%、「牛海綿状脳症(BSE)に関する食品の安全性」を挙げた者が 35.0%の順であった。

なお、「その他」として、3.5%の者が「情報の信頼性」等を挙げた。



問2 あなたは食品の安全性について、次にあげる項目のうち、特に不安を感じるものはどれですか。この中から3つまで選んでください。

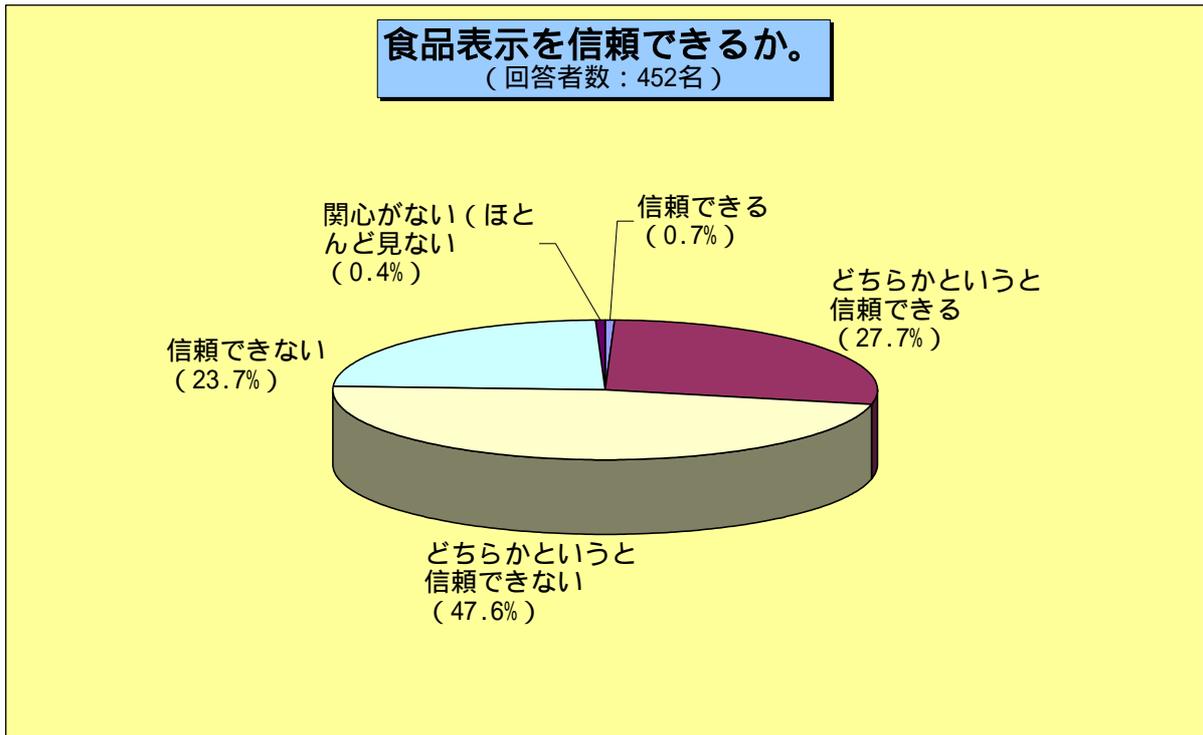
- 1 食品中の農薬や抗生物質等の残留
- 2 遺伝子組換え食品の安全性
- 3 食品添加物の安全性
- 4 輸入食品の安全性
- 5 牛海綿状脳症(BSE)に関する食品の安全性
- 6 その他(具体的に)

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%								
452	382	84.5	210	46.5	244	54.0	292	64.6	158	35.0	16	3.5

### (3) 食品表示を信頼できるか否かについて

食品表示を信頼できるか否かについて、選択肢を示して尋ねたところ、「どちらかという信頼できない」と回答した者が47.6%と最も多く、次いで「どちらかという信頼できる」と回答した者が27.7%、「信頼できない」と回答した者が23.7%、「信頼できる」と回答した者が0.7%となっており、「どちらかという信頼できない」を含め、全体の71.2%の者が食品表示を信頼できないと回答した。

なお、「関心がない(ほとんど見ない)」と回答した者が0.4%であった。



#### 問3 食品表示について、信頼できますか。それとも信頼できませんか。

- 1 信頼できる
- 2 どちらかという信頼できる
- 3 どちらかという信頼できない
- 4 信頼できない
- 5 関心がない(ほとんど見ない)

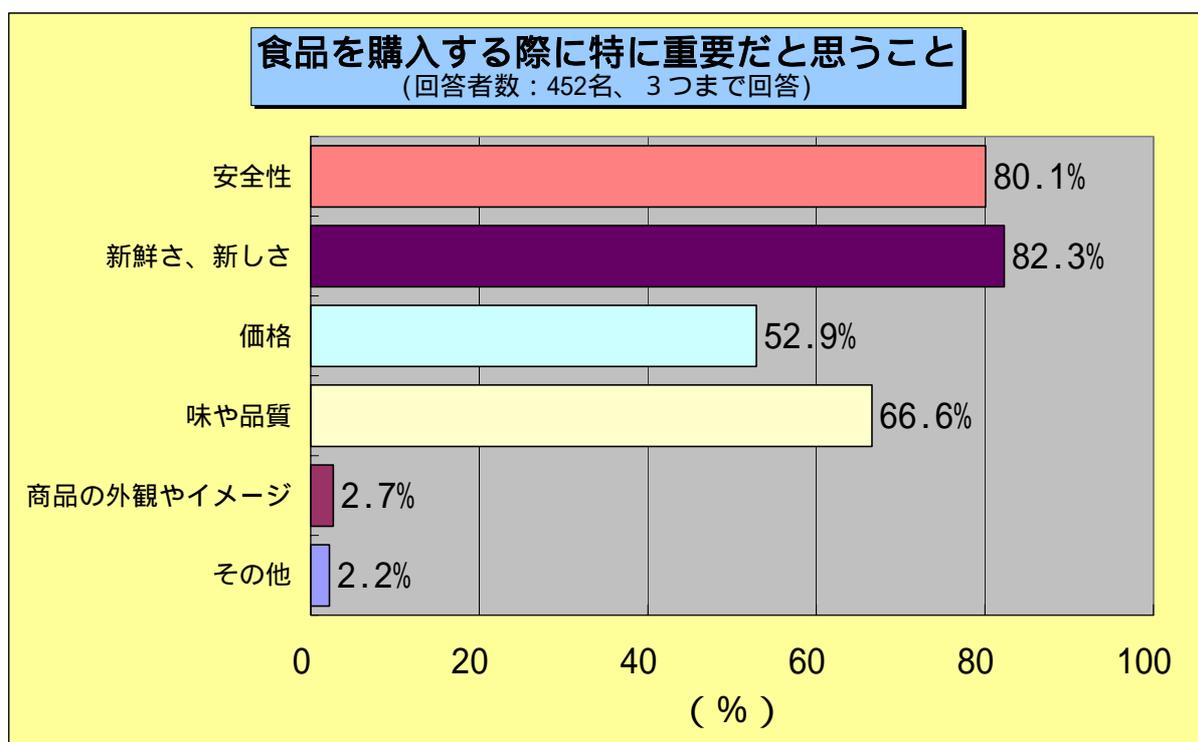
回答者数	1		2		3		4		5	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	3	0.7	125	27.7	215	47.6	107	23.7	2	0.4

## 2 食品を購入する際のポイントについて

食品を購入する際に目安としていること及び購入した食品に不安・不満を感じた時の対応等について尋ねた。

### (1) 食品を購入する際に特に重要だと思うことについて

食品を購入する際に特に重要だと思うことについて、選択肢を示して尋ねたところ、「新鮮さ、新しさ」を挙げた者が82.3%と最も多く、次いで「安全性」を挙げた者が80.1%、「味や品質」を挙げた者が66.6%、「価格」を挙げた者が52.9%、「商品の外観やイメージ」を挙げた者が2.7%の順であった。なお、「その他」として、2.2%の者が「産地」等を挙げた。



問4 あなたは食品を購入する際に、特に重要だと思うことは何ですか。この中から3つまで選んでください。

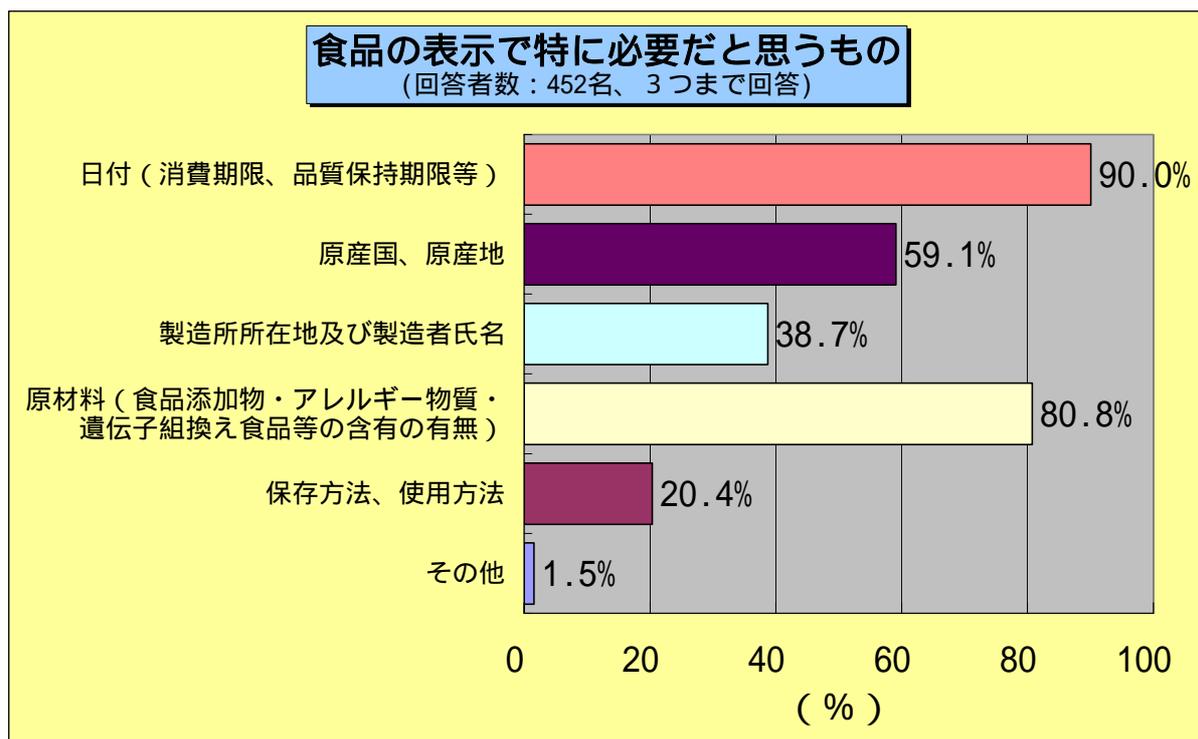
- 1 安全性
- 2 新鮮さ、新しさ
- 3 価格
- 4 味や品質
- 5 商品の外観やイメージ
- 6 その他（具体的に）

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	362	80.1	372	82.3	239	52.9	301	66.6	12	2.7	10	2.2

## (2) 食品の表示で特に必要だと思うものについて

食品の表示で特に必要だと思うものについて、選択肢を示して尋ねたところ、「日付（消費期限、品質保持期限等）」を挙げた者が90.0%と最も多く、次いで「原材料（食品添加物・アレルギー物質・遺伝子組換え食品等の含有の有無）」を挙げた者が80.8%、「原産国、原産地」を挙げた者が59.1%、「製造所所在地及び製造者氏名」を挙げた者が38.7%、「保存方法、使用方法」を挙げた者が20.4%の順であった。

なお、「その他」として、1.5%の者が「製造年月日」等を挙げた。



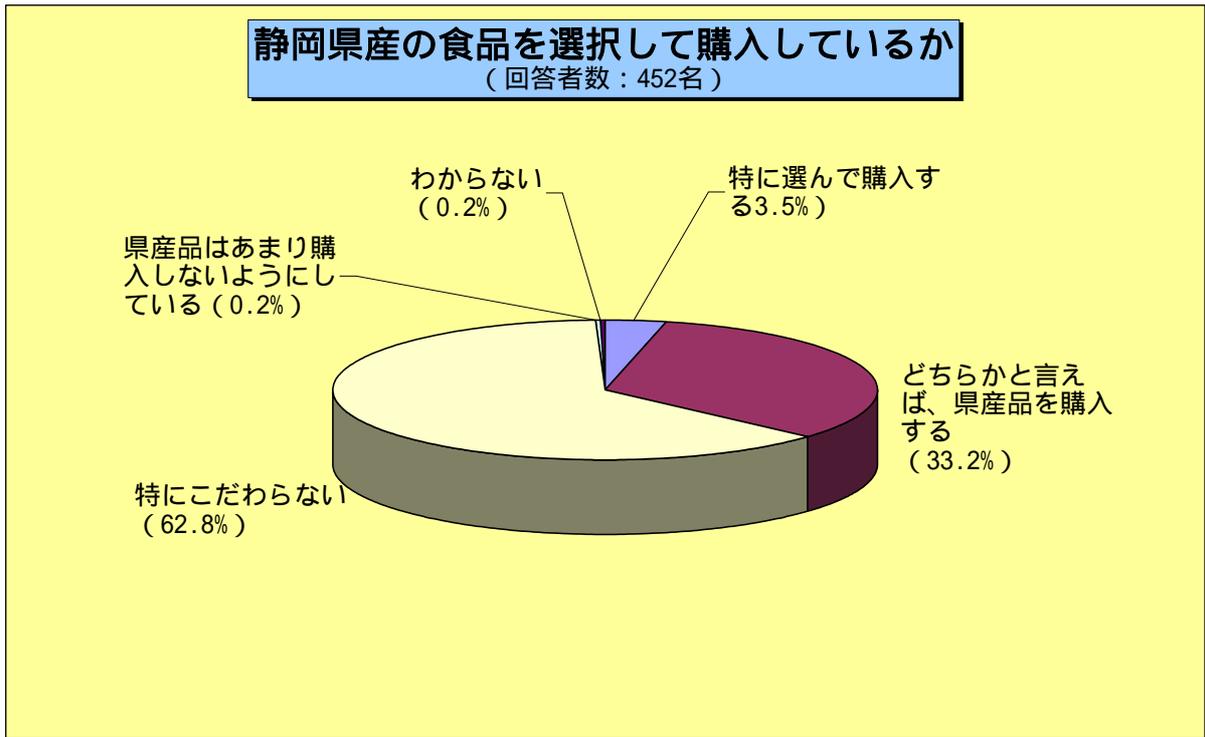
問5 あなたは食品を購入する際に、食品の表示の中で、特に必要だと思う項目は何ですか。この中から3つまで選んでください。

- 1 日付（消費期限、品質保持期限等）
- 2 原産国、原産地
- 3 製造所所在地及び製造者氏名
- 4 原材料（食品添加物・アレルギー物質・遺伝子組換え食品等の含有の有無）
- 5 保存方法、使用方法
- 6 その他（具体的に）

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	407	90.0	267	59.1	175	38.7	365	80.8	92	20.4	7	1.5

(3) 静岡県産の食品を選択して購入しているか否かについて

静岡県産の食品を選択して購入しているか否かについて、選択肢を示して尋ねたところ、「特にこだわらない」と回答した者が 62.8%と最も多く、次いで「どちらかと言えば、県産品を購入する」と回答した者が 33.2%、「特に選んで購入する」と回答した者が 3.5%、「県産品はあまり購入しないようにしている」と回答した者が 0.2%、「わからない」と回答した者が 0.2%の順であり、「どちらかと言えば、県産品を購入する」を含め、県産品を購入する者は、全体の 36.7%に留まった。



問6 あなたは食品を購入する際に、静岡県産の食品を選んで購入しますか。

- 1 特に選んで購入する
- 2 どちらかと言えば、県産品を購入する
- 3 特にこだわらない
- 4 県産品はあまり購入しないようにしている
- 5 わからない
- 6 その他(具体的に)

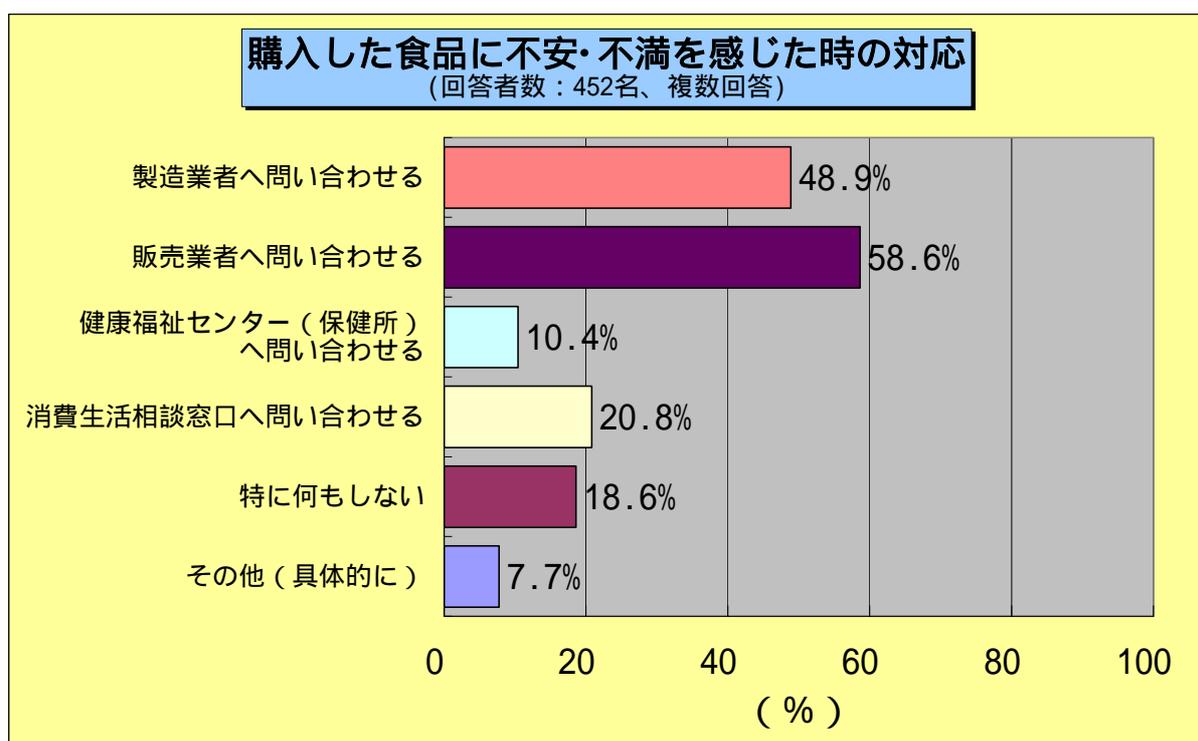
回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	16	3.5	150	33.2	284	62.8	1	0.2	1	0.2	0	0

\* 6に回答した者は、1～5に重複回答していたので、6に回答した者の人数から削除した。

#### (4) 購入した食品に不安・不満を感じた時の対応について

購入した食品に不安・不満を感じた時の対応について、選択肢を示して尋ねたところ、「販売業者へ問い合わせる」を挙げた者が58.6%と最も多く、次いで「製造業者へ問い合わせる」を挙げた者が48.9%、「消費生活相談窓口へ問い合わせる」と回答した者が20.8%、「健康福祉センター(保健所)へ問い合わせる」を挙げた者が10.4%、「特に何もしない」を挙げた者が18.6%の順であった。

なお、「その他」として、7.7%の者が「食べずに捨てる」等を挙げた。



問7 あなたは購入した食品に不安・不満を感じたときは、どうしますか。この中からいくつでも選んでください。

- 1 製造業者へ問い合わせる
- 2 販売業者へ問い合わせる
- 3 健康福祉センター(保健所)へ問い合わせる
- 4 消費生活相談窓口へ問い合わせる
- 5 特に何もしない
- 6 その他(具体的に)

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	221	48.9	265	58.6	47	10.4	94	20.8	84	18.6	35	7.7

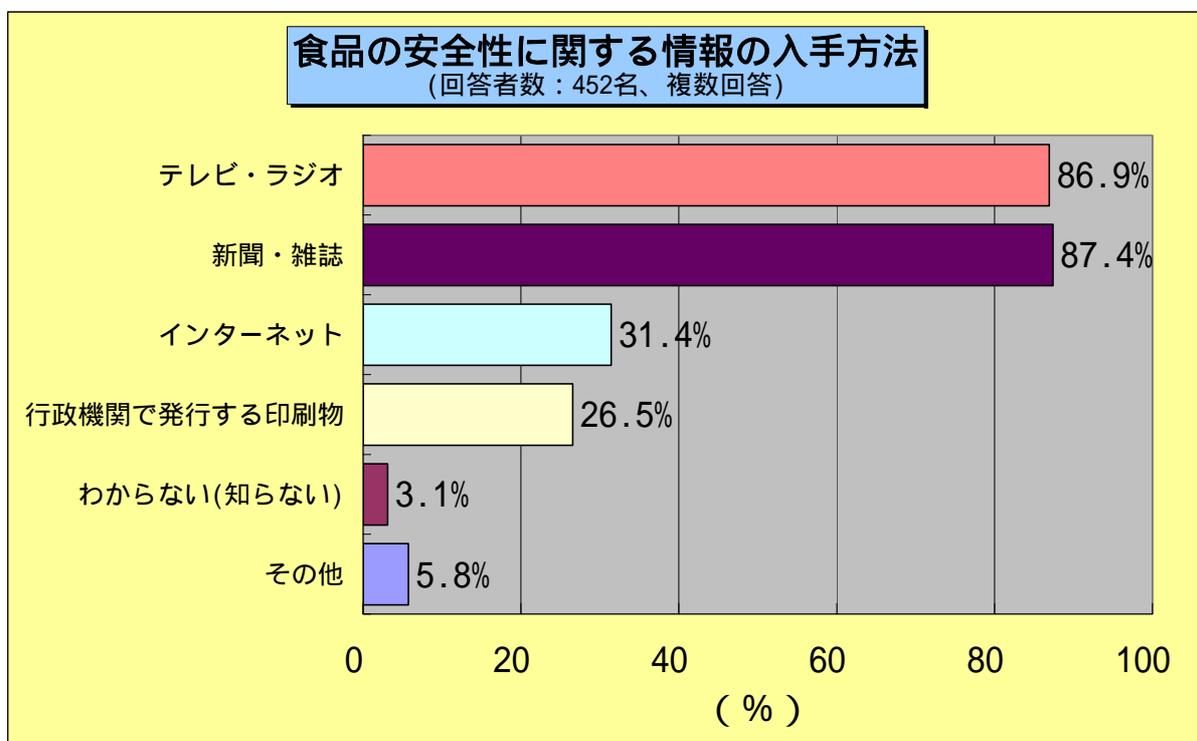
### 3 食品の安全対策について

食品の安全性に関する情報の入手方法、及び食品の安全対策方法の認知等について尋ねた。

#### (1) 食品の安全性に関する情報の入手方法について

食品の安全性に関する情報の入手方法について、選択肢を示して尋ねたところ、「新聞・雑誌」を挙げた者が87.4%と最も多く、次いで「テレビ・ラジオ」を挙げた者が86.9%、「インターネット」と回答した者が31.4%、「行政機関で発行する印刷物」を挙げた者が26.5%、「わからない(知らない)」を挙げた者が3.1%の順であった。

なお、「その他」として、5.8%の者が「友人」や「生協等の印刷物」等を挙げた。



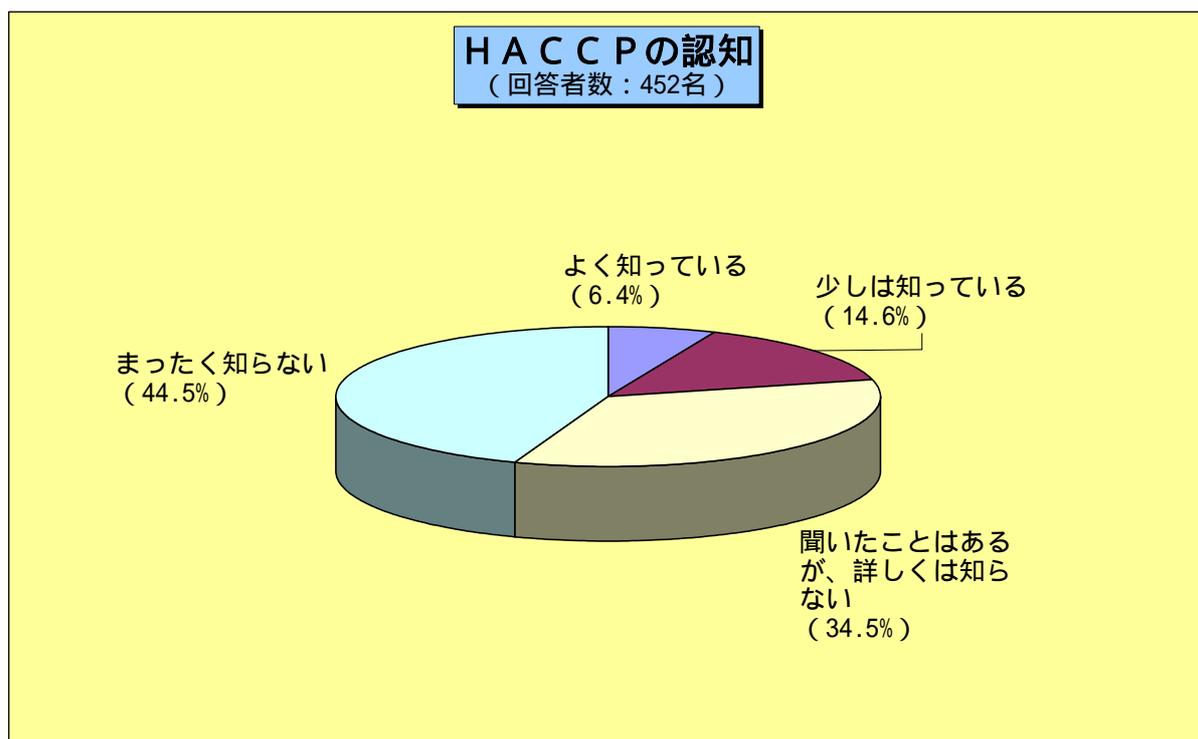
問8 あなたは食品の安全性に関する情報をどこから手に入れますか。この中からいくつでも選んでください。

- 1 テレビ・ラジオ
- 2 新聞・雑誌
- 3 インターネット
- 4 行政機関で発行する印刷物
- 5 わからない(知らない)
- 6 その他(具体的に)

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	393	86.9	395	87.4	142	31.4	120	26.5	14	3.1	26	5.8

## (2) HACCPの認知について

HACCP（安全な食品をつくるための新しい高度な衛生管理の方法）の認知について、選択肢を示して尋ねたところ、「まったく知らない」と回答した者が44.5%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」と回答した者が34.5%、「少しは知っている」と回答した者が14.6%、「よく知っている」と回答した者が6.4%であり、「少しは知っている」を含め、HACCPを知っている者は、全体の21.0%の者に留まった。



問9 あなたはHACCPについて知っていますか。(HACCP=安全な食品をつくるための新しい高度な衛生管理の方法)

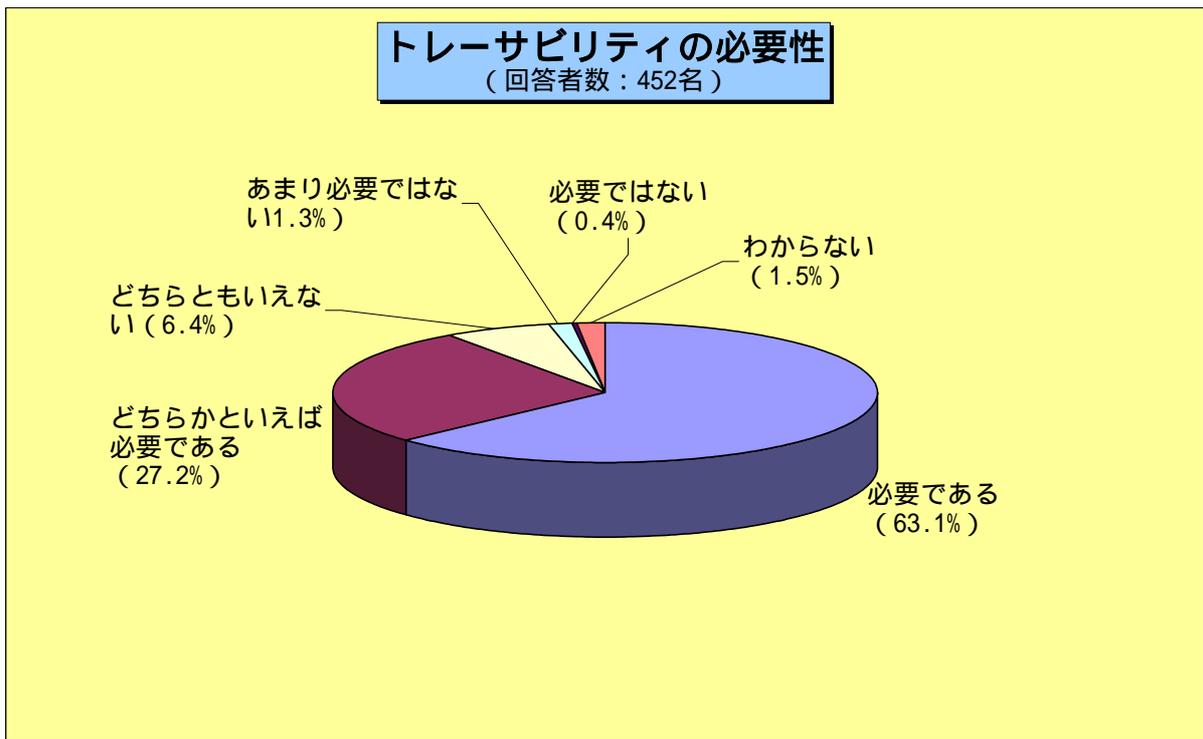
- 1 よく知っている
- 2 少しは知っている
- 3 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 4 まったく知らない
- 5 その他(具体的に)

回答者数	1		2		3		4		5	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	29	6.4	66	14.6	156	34.5	201	44.5	0	0

\* 5に回答した者は、1～4に重複回答していたので、5に回答した者の人数から削除した。

### (3) トレーサビリティの必要性について

農水産物の流通経路を明確にし、どのように栽培・流通されたかを把握するシステムである生産流通履歴(トレーサビリティ)をどう思うかについて、選択肢を示して尋ねたところ、「必要である」と回答した者が63.1%と最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」と回答した者が27.2%、「わからない」と回答した者が1.5%、「どちらともいえない」と回答した者が6.4%、「あまり必要ではない」と回答した者が1.3%、「必要ではない」と回答した者が0.4%の順であり、「どちらかといえば必要である」を含め、全体の90.3%の者がトレーサビリティの必要性があると回答した。



問10 農水産物の流通経路を明確にし、どのように栽培・流通されたかを把握するシステムである生産流通履歴(トレーサビリティ)について、どう思いますか。

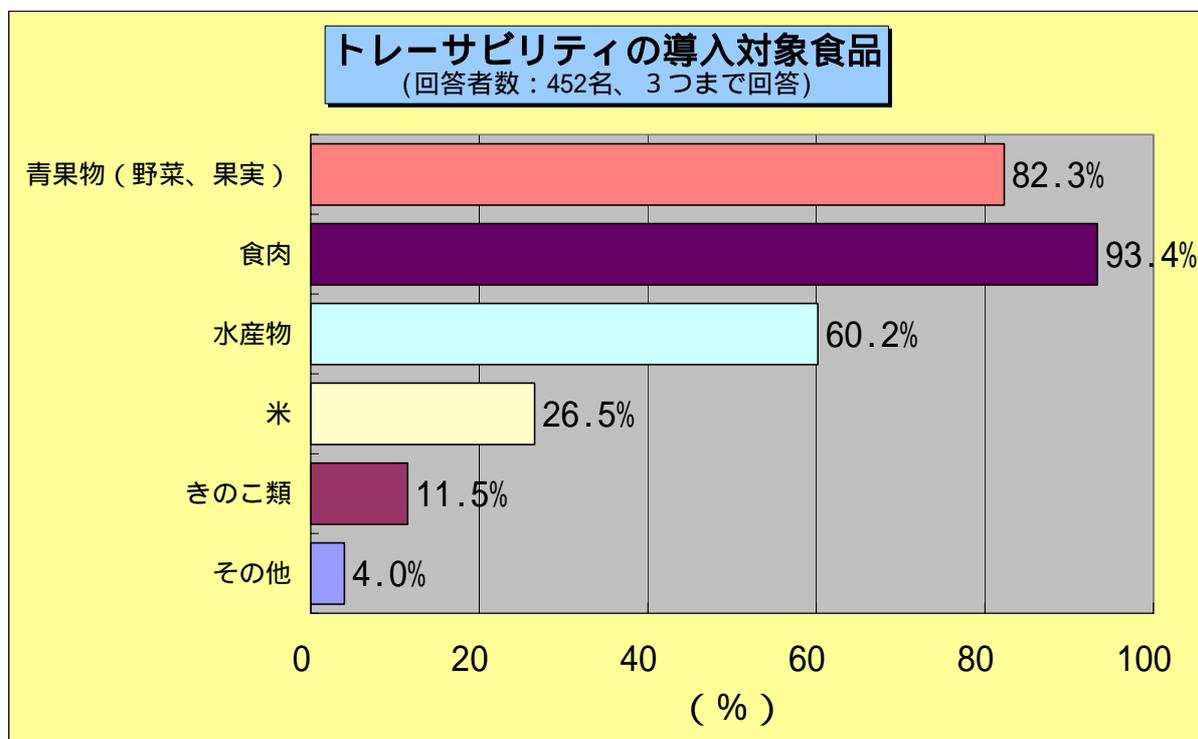
- 1 必要である
- 2 どちらかといえば必要である
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要ではない
- 5 必要ではない
- 6 わからない

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	285	63.1	123	27.2	29	6.4	6	1.3	2	0.4	7	1.5

#### (4) トレーサビリティの導入対象食品について

生産流通履歴(トレーサビリティ)の導入対象食品について、選択肢を示して尋ねたところ、「食肉」を挙げた者が93.4%と最も多く、次いで「青果物(野菜、果実)」を挙げた者が82.3%、「水産物」と回答した者が60.2%、「米」を挙げた者が26.5%、「きのこ類」を挙げた者が11.5%の順であった。

なお、「その他」として、4.0%の者が「加工食品」等を挙げた。



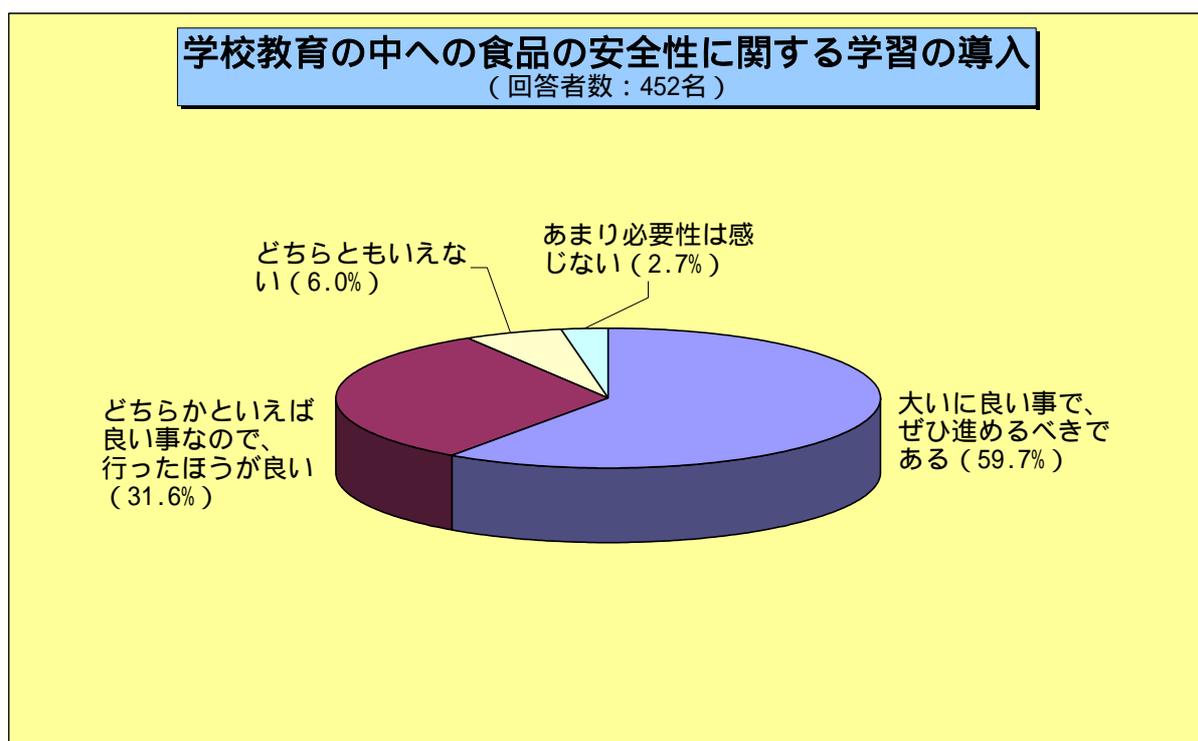
問11 生産流通履歴(トレーサビリティ)が実施されるならば、次のどの食品について知りたいですか。この中から3つまで選んでください。

- 1 青果物(野菜、果実)
- 2 食肉
- 3 水産物
- 4 米
- 5 きのこと類
- 6 その他(具体的に)

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	372	82.3	422	93.4	272	60.2	120	26.5	52	11.5	18	4.0

### (5) 学校教育の中への食品の安全性に関する学習の導入について

学校教育の中への食品の安全性に関する学習の導入について、選択肢を示して尋ねたところ、「大いに良い事で、ぜひ進めるべきである」と回答した者が59.7%と最も多く、次いで「どちらかといえば良い事なので、行ったほうが良い」と回答した者が31.6%、「どちらともいえない」と回答した者が6.0%、「あまり必要性は感じない」と回答した者が2.7%、「必要性はないので、行うべきではない」と回答した者が0%であり、「どちらかといえば良い事なので、行ったほうが良い」を含め、全体の91.4%の者が学校教育に食品の安全性に関する学習を導入すべきであると回答した。



問12 国では、学校教育の中に食品の安全性に関する学習を取り入れることを検討していますが、どう思いますか。

- 1 大いに良い事で、ぜひ進めるべきである
- 2 どちらかといえば良い事なので、行ったほうが良い
- 3 どちらともいえない
- 4 あまり必要性は感じない
- 5 必要性はないので、行うべきではない

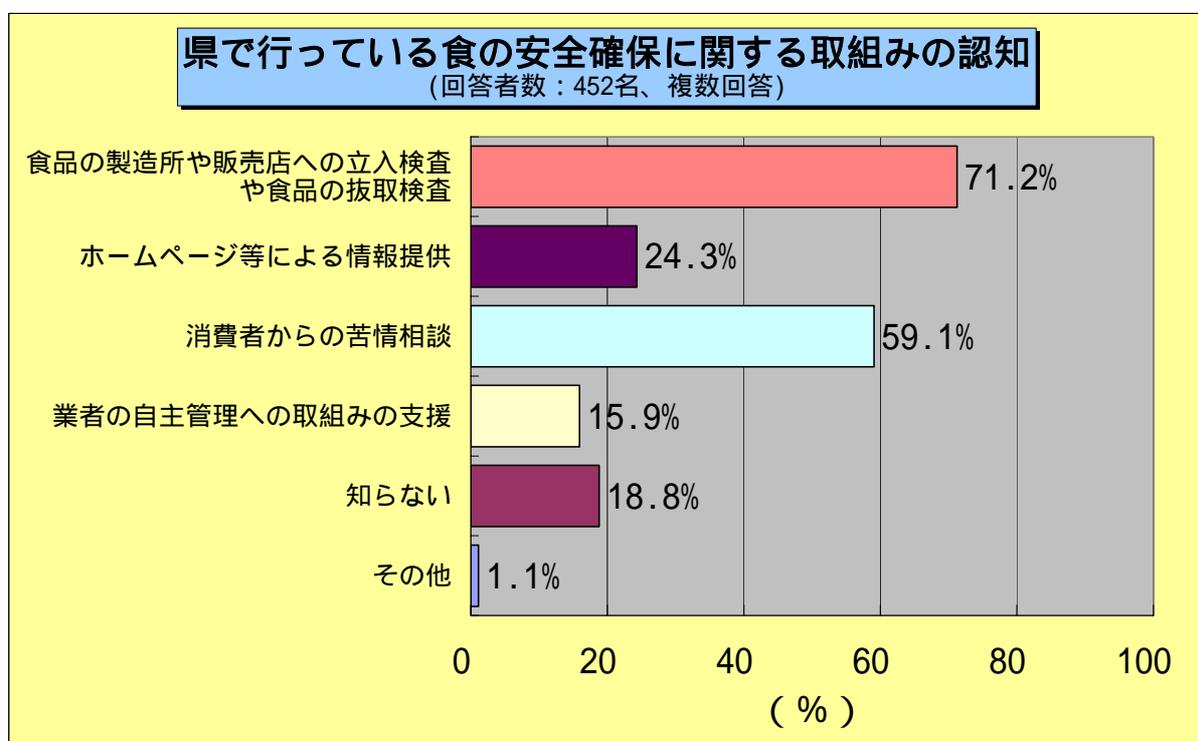
回答者数	1		2		3		4		5	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	270	59.7	143	31.6	27	6.0	12	2.7	0	0

## 4 行政に何を求めているかについて

県が実施している食品の安全確保への取組み及び今後の方向性等について尋ねた。

### (1) 県で行っている食の安全確保に関する取組みの認知について

県で行っている食の安全確保に関する取組みの認知について、選択肢を示して尋ねたところ、「食品の製造所や販売店への立入検査や食品の抜取検査」を挙げた者が71.2%と最も多く、次いで「消費者からの苦情相談」を挙げた者が59.1%、「ホームページ等による情報提供」と回答した者が24.3%、「知らない」を挙げた者が18.8%、「業者の自主管理への取組みの支援」を挙げた者が15.9%の順であった。



問13 県で行っている食の安全確保に関する取組みについて、知っているものはどれですか。この中からいくつでも選んでください。

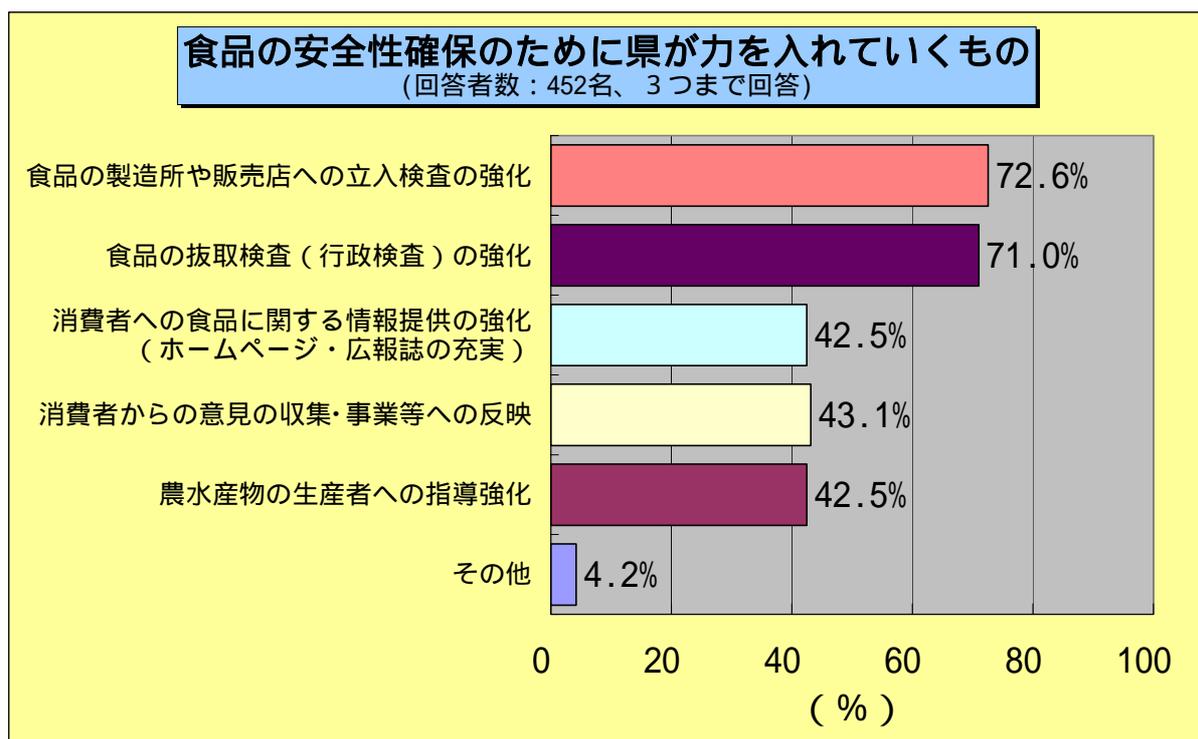
- 1 食品の製造所や販売店への立入検査や食品の抜取検査
- 2 ホームページ等による情報提供
- 3 消費者からの苦情相談
- 4 業者の自主管理への取組みの支援
- 5 知らない
- 6 その他(具体的に)

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
452	322	71.2	110	24.3	267	59.1	72	15.9	85	18.8	5	1.1

## (2) 食品の安全性確保のために県が力を入れていくものについて

食品の安全性確保のために県が力を入れていくものについて、選択肢を示して尋ねたところ、「食品の製造所や販売店への立入検査の強化」を挙げた者が72.6%と最も多く、次いで「食品の抜取検査(行政検査)の強化」を挙げた者が71.0%、「消費者からの意見の収集・事業等への反映」と回答した者が43.1%、「消費者への食品に関する情報提供の強化(ホームページ・広報誌の充実)」を挙げた者が42.5%、「農水産物の生産者への指導強化」を挙げた者が42.5%の順であった。

なお、「その他」として、4.2%の者が「違反業者の公表」や「罰則の強化」等を挙げた。



問14 食品の安全性を確保するために、県では今後特に何に力を入れていくべきだと思いますか。この中から3つまで選んでください。

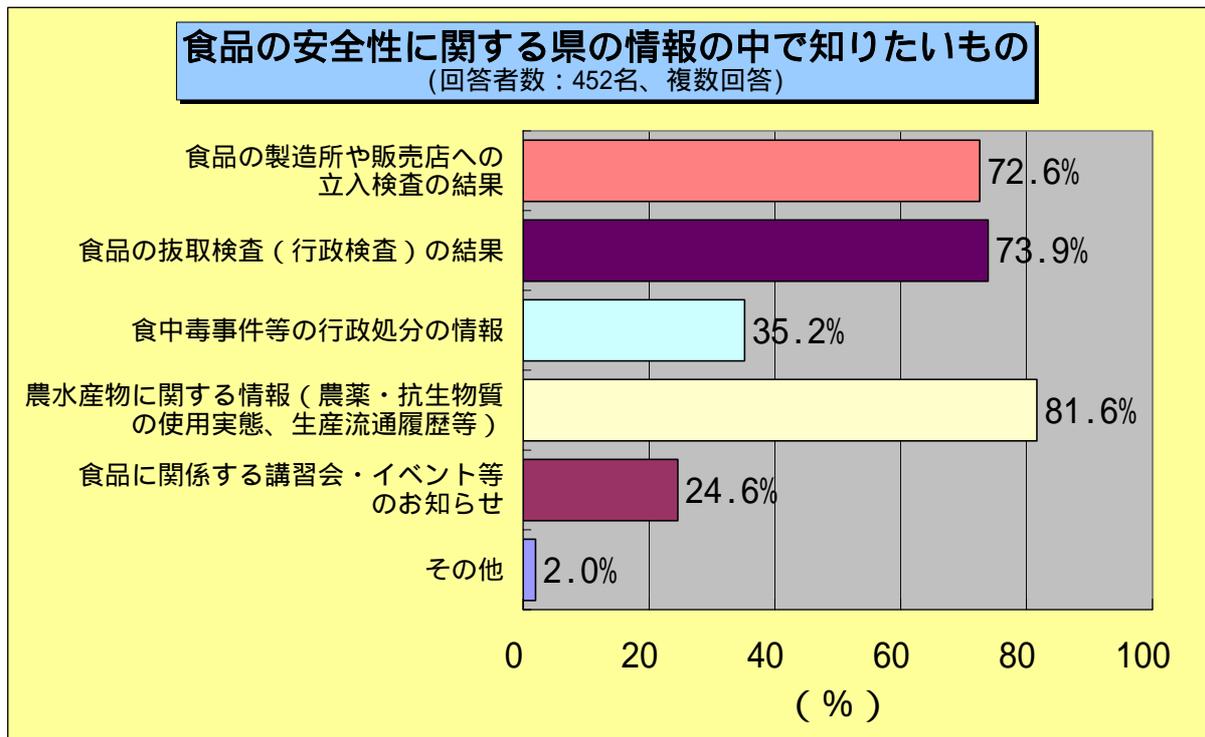
- 1 食品の製造所や販売店への立入検査の強化
- 2 食品の抜取検査(行政検査)の強化
- 3 消費者への食品に関する情報提供の強化(ホームページ・広報誌の充実)
- 4 消費者からの意見の収集・事業等への反映
- 5 農水産物の生産者への指導強化
- 6 その他(具体的に)

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%								
452	328	72.6	321	71.0	192	42.5	195	43.1	192	42.5	19	4.2

### (3) 食品の安全性に関する県の情報の中で知りたいものについて

食品の安全性に関する県の情報の中で知りたいものについて、選択肢を示して尋ねたところ、「農水産物に関する情報(農薬・抗生物質の使用実態、生産流通履歴等)」を挙げた者が81.6%と最も多く、次いで「食品の抜取検査(行政検査)の結果」を挙げた者が73.9%、「食品の製造所や販売店への立入検査の結果」と回答した者が72.6%、「食中毒事件等の行政処分の情報」を挙げた者が35.2%、「食品に関する講習会・イベント等のお知らせ」を挙げた者が24.6%の順であった。

なお、「その他」として、2.0%の者が「遺伝子組換えに関する情報」等を挙げた。



問15 食品の安全性に関する県の情報の中で、あなたが知りたいことは何ですか。この中からいくつか選んでください。

- 1 食品の製造所や販売店への立入検査の結果
- 2 食品の抜取検査 (行政検査) の結果
- 3 食中毒事件等の行政処分の情報
- 4 農水産物に関する情報 (農薬・抗生物質の使用実態、生産流通履歴等)
- 5 食品に関する講習会・イベント等のお知らせ
- 6 その他 (具体的に)

回答者数	1		2		3		4		5		6	
	人数	%	人数	%								
452	328	72.6	334	73.9	159	35.2	369	81.6	111	24.6	9	2.0

## 5 自由記述

食の安全性について日頃感じていることについて尋ねたところ、回答者 452 名のうち、295 名（65.3%）から、延べ 313 件の意見・要望等が寄せられた。

意見等の中で最も多かったのは、「食の安全に関する情報提供等を望むもの」（54 件）で、次いで、「表示に関する不信、要望事項等を述べたもの」（41 件）、「取締り強化を望むもの」（40 件）の順であった。

内容分類	件数
食の安全に関する情報提供等を望むもの	54件
表示に関する不信、要望事項等を述べたもの	41件
取締り強化を望むもの	40件
企業モラルの向上を望むもの	24件
罰則強化を望むもの	19件
検査の充実強化を望むもの	12件
地産地消の推進を望むもの	10件
今後の施策に期待を寄せるもの	10件
行政への意見等を述べたもの	10件
その他	93件
合計	313件

1 つの回答で複数の意見を述べたものは、各項目へ計上した。

### 第3 調査結果の活用方法

今回のアンケートの集計結果により、大変多くの県民の皆さんが食品の安全性に対して不安に思うとともに、食品表示に対して不信感を抱いていることが明らかとなった。

また、その不安を抱く原因となるものは、食品中の農薬や抗生物質等の残留、輸入食品や食品添加物の安全性であるとともに、食品の表示については、多くの県民の皆さんが日付と原材料表示の重要性を感じていることが分かった。

さらに、行政に対しては、より一層の監視指導や抜取検査の強化による食の安全確保を望んでいることが分かった。

今後は、これらの貴重な御意見を踏まえ、食の安全推進のための基本方針やアクションプランを策定していきたいと考えている。

## 2 県政世論調査 平成 14 年度 概要報告書（抜粋）

### 第 1 調査の概要

#### 1 調査の目的

県民の生活についての意識、県政の主要課題についての意識などを把握し、県政推進のための基礎的な資料とする。

#### 2 調査の内容

- (1) 生活についての意識
- (2) 県の仕事に対する関心
- (3) 「人づくり」推進についての意識
- (4) 「県民の日」についての意識
- (5) 男女共同参画に関する意識
- (6) 木材利用と環境に関わる意識
- (7) 健康危機管理に関する県の取組み評価

#### 3 調査の設計

- 調査地域 静岡県全域
- 調査対象 県内在住の満 20 歳以上の男女個人
- 標本数 2,000
- 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- 調査方法 調査員による面接調査
- 調査時期 平成 14 年 8 月 1 日～8 月 21 日
- 調査機関 株式会社サーベイリサーチセンター静岡事務所

#### 4 回収結果

	20 歳以上の推定人口	標本数	回収率 (%)
東 部	999,190	664	554 (83.4)
中 部	993,646	661	556 (84.1)
西 部	1,017,661	675	554 (82.1)
全 県	3,010,497	2,000	1,664 (83.2)

#### この冊子のよみかた

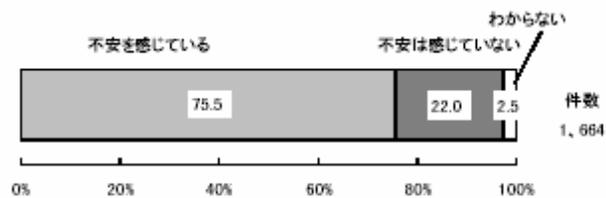
- 1 結果は百分率で表示した。数表・グラフの百分率は小数第 2 位を、結果の概要説明文では小数第 1 位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- 2 回答結果は 1,664 を 100%として示した。なお一部の方に対する質問では、質問該当者を 100%とするのを原則とした。
- 3 質問の末尾に (M. A.) とあるのは、1 人の対象者に 2 つ以上の回答を認めたもので、その百分率の合計は 100%を超える場合がある。

## 第2 安全で健康な日常生活を送ることについて

Q18 米国における炭疽菌事件や牛海綿状脳症(いわゆる狂牛病: BSE)の発生、遺伝子組換え食品等の食品の安全性に対する不安など、私たちの健康を脅かしかねない様々な事例が発生しています。

あなたは、安全で健康な日常生活を送ることについて不安を感じていますか。

SQ [回答票 27] 特にどのようなことに不安を感じていますか。次の中から3つまで選んでください。(M. A.)

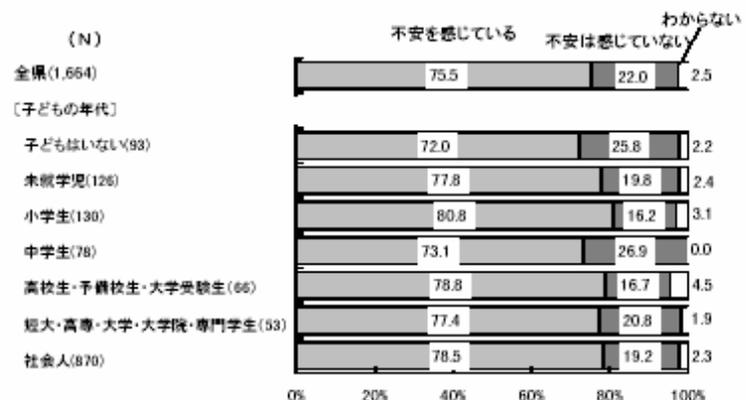


### 全 体

- 「不安を感じている」人が76%と大半を占めている。

### 子どもの年代別

- 「小学生」で「不安を感じている」割合が8割と高くなっている。



### 不安を感じていること

- 「食品についての安全性」が77%と圧倒的に高い。以下、「公害や有害物質による汚染」、「飲料水の汚染」、「医療関連事故」の順となっている。

